

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2000-354172(P2000-354172A)

【公開日】平成12年12月19日(2000.12.19)

【出願番号】特願2000-132359(P2000-132359)

【国際特許分類】

H 04 N	1/52	(2006.01)
G 06 T	5/00	(2006.01)
H 04 N	1/405	(2006.01)
H 04 N	1/60	(2006.01)

【F I】

H 04 N	1/46	B
G 06 T	5/00	2 0 0 A
H 04 N	1/40	B
H 04 N	1/40	D

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月25日(2007.4.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カラー画像を印刷するための誤差拡散ハーフトーン法であって、  
 カラー画像におけるピクセルで複数のカラーの階調を識別するステップと、  
 入力加算を生成するために複数のカラーの階調を組み合わせるステップと、  
 しきい値レベルを判定するために入力加算を使うステップと、  
 トータル値加算(68)を生成するために複数のカラーの階調をピクセルで複数のカラーの累積誤差と組み合わせるステップと、  
 複数のカラーのうちの1つのドットを印刷するべきかどうか判定するためにトータル値加算をしきい値レベルと比較するステップと、  
 を含むハーフトーン法。

【請求項2】

さらにトータル値加算がしきい値レベルより大きいとき、どのカラードットを印刷すべきか判断するステップを含み、該判断するステップは、

第1トータル値を生成するために第1カラーの階調を第1カラーの累算誤差と合計するステップと、

第2トータル値を生成するために第2カラーの階調を第2カラーの累積誤差と合計するステップと、

より大きいトータル値をもつカラーを判断するために第1トータル値を第2トータル値と比較するステップと、

より大きいトータル値でカラーのドットを印刷するステップと、  
を含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも2つの誤差重みを判定するために入力加算を使うステップと、  
それぞれのカラーおよび印刷されたドットがあるならば該ドットのカラーについての累

積誤差に基づいて、それぞれカラーのために最終的な分散誤差を生成するステップと、  
それぞれのカラーについての最終的な分散誤差を拡散するために少なくとも2つの誤差  
重みを使うステップと、  
を含む請求項2に記載の方法。

**【請求項4】**

複数のカラーのうちの1つの第1ドットを印刷するべきかどうか判定するために入力加  
算をピクセルのフル強度しきい値と比較するステップを含む請求項1に記載の方法。

**【請求項5】**

入力加算がフル強度しきい値より大きいとき、複数のカラーのうちの1つの第1ドット  
が印刷され、

トータル値加算をしきい値レベルと比較することが、複数のカラーうちの1つの第2ド  
ットを印刷すべきかどうか判定する

請求項4に記載の方法。

**【請求項6】**

入力加算がフル強度しきい値より大きいとき、どのカラーの第1ドットを印刷するかを  
判定するステップを含み、該判定するステップは、

第1トータル値を生成するために第1カラーの階調を第1カラーの累積誤差と合計する  
ステップと、

第2トータル値を生成するために第2カラーの階調を第2カラーの累積誤差と合計する  
ステップと、

より大きいトータル値をもつカラーを判定するために第1トータル値を第2トータル値  
と比較するステップと、

より大きいトータル値でカラーの第1ドットを印刷するステップと、  
を含む請求項5に記載の方法。

**【請求項7】**

修正された入力加算を生成するためにフル強度しきい値を入力加算から減ずることによ  
って入力加算を修正するステップと、

修正された入力加算が、しきい値レベルを判定するために使用され、

それぞれのカラーおよび印刷された第1ドットがあるならば該ドットのカラーの累積誤  
差に基づいて、それぞれのカラーについて修正された累積誤差値を生成するステップと、  
を含み、

トータル値加算を生成するために複数のカラーの階調が複数のカラーの修正された累積  
誤差と組み合わせられる、

請求項6に記載の方法。

**【請求項8】**

第1ドットが複数のカラーのうちの1つの印刷がされ、第2ドットが複数のカラーの別  
の一つの印刷がされ、

第1ドットおよび第2ドットが少なくとも部分的に重なって印刷される請求項5に記載の  
方法。

**【請求項9】**

トータル値加算がしきい値レベルより大きいとき、何色の第2ドットを印刷するかを判  
定することを含み、この判定ステップは、

第1修正されたトータル値を生成するため第1カラーの階調を第1カラーについての修  
正された累積誤差と合計するステップと、

第2修正されたトータル値を生成するため第2カラーの階調を第2カラーについての修  
正された累積誤差と合計するステップと、

より大きいトータル値をもつカラーを判定するため、第1の修正されたトータル値を第  
2の修正されたトータル値と比較するステップと、

より大きいトータル値をもつカラーの第2のものを印刷するステップと、  
を含む請求項7に記載の方法。

【請求項 10】

少なくとも2つの誤差重みを判定するために修正された入力加算を使うステップと、  
修正された累積誤差およびそれぞれのカラーについての入力階調および印刷された第2  
ドットのカラーに基づいてそれぞれのカラーの最終的な分散誤差を生成するステップと、  
— それぞれカラーについての最終的な分散誤差を拡散するために少なくとも2つの誤差重  
みを使うステップと  
を含む請求項 9 に記載の方法。